



(19)

(11) Publication number: 200

Generated Document.

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(21) Application number: 2001020167

(51) Int'l. Cl.: G06F 3/033

(22) Application date: 29.01.01

(30) Priority:

(43) Date of application
publication: 09.08.02(84) Designated contracting
states:

(71) Applicant: TOOKADO:KK

(72) Inventor: USUI AKIHIKO

(74) Representative:

**(54) INPUT PREVENTIVE
STRUCTURE OF MOUSE****(57) Abstract:**

PROBLEM TO BE SOLVED: To temporarily prevent the input operation of a mouse.

SOLUTION: A deterrence member 5 is provided slidably along the reverse surface of an input operation button 2 and the tip of a lock piece 3 is inserted into the gap between the reverse surface of the input operation button 2 and the upper end of the front end side wall of the mouse main body 1 by moving the deterrence member 5 forward to restrict the depression of the input operation button 2; and the deterrence member 5 is moved backward to reset the fixation, so that input operation becomes possible.

COPYRIGHT: (C)2002,JPO

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開2002-222047

(P2002-222047A)

(43)公開日 平成14年8月9日(2002.8.9)

(51)Int.Cl.⁷
G 0 6 F 3/033

識別記号
3 4 0

F I
G 0 6 F 3/033

テマコト(参考)
3 4 0 C 5 B 0 8 7

審査請求 未請求 請求項の数3 OL (全4頁)

(21)出願番号 特願2001-20167(P2001-20167)

(22)出願日 平成13年1月29日(2001.1.29)

(71)出願人 000134224

株式会社トーカド

東京都大田区北千束1-4-6

(72)発明者 白井 昭彦

東京都大田区北千束1丁目4番6号 株式
会社トーカド内

(74)代理人 100073221

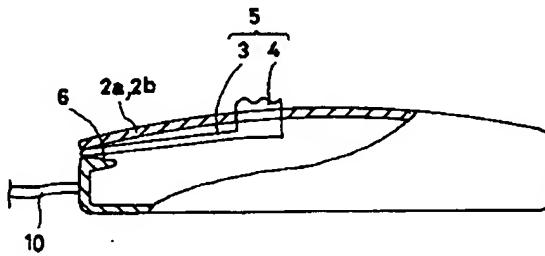
弁理士 花輪 義男

Fターム(参考) 5B087 AB05 AC00 BB05 BB11

(54)【発明の名称】 マウスの入力防止構造

(57)【要約】

【課題】 マウスの入力操作を一時的に防止する。
【解決手段】 入力操作ボタン2の下面に沿って制止部材5を摺動自在に設け、制止部材5を前進して係止片3の先端を入力操作ボタン2の裏面とマウス本体1の前端側壁上端との隙間挿入することにより入力操作ボタン2の押圧操作が拘束され、また制止部材5を後退させることにより固定が解除されて入力が可能となる。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 パソコン等の入力を操作するマウスにおいて、入力を一時的に防止する入力防止手段を入力操作ボタンの裏面側に設けたことを特徴とするマウスの入力防止構造。

【請求項2】 前記入力防止手段は、入力操作ボタンの裏面とマウス本体の側壁上端との隙間に挿入して入力を防止する制止部材をマウスの上面に沿って挿脱自在に設けたことを特徴とする請求項1記載のマウスの入力防止構造。

【請求項3】 前記入力防止手段は、入力操作ボタンを裏面側から押し上げて入力を防止する制止部材をマウス前端の側壁に設けたことを特徴とする請求項1記載のマウスの入力防止構造。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明はパソコン等の入力を操作するマウスに関する。

【0002】

【従来の技術】 パソコン等の入力を操作する従来のマウスは、図1に示すように上面の一方に設けられた入力操作ボタン2a, 2bを押圧操作することにより画面上の所定位置に入力することができる構成となっている。なお、図中の符号10はパソコン等に接続するコードを示す。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 しかしながら、前記従来のマウスは、使用しないときに机上に放置しておくと、放置中に入力操作ボタン2a, 2bに何かが当接して不慮の入力がなされてしまうという問題があった。

【0004】 よって本発明は、前記従来の問題点に鑑みてなされたものであり、マウスを使用しないときには不慮の入力がなされないように入力を一時的に防止するマウスの入力防止構造の提供を目的とする。

【0005】

【課題を解決するための手段】 上記目的を達成するため、本発明のマウスの入力防止構造に係る請求項1は、パソコン等の入力を操作するマウスにおいて、入力を一時的に防止する入力防止手段を入力操作ボタンの裏面側に設けたことを特徴とするものである。

【0006】 請求項2は、前記入力防止手段は、入力操作ボタンの裏面とマウス本体の側壁上端との隙間に挿入して入力を防止する制止部材をマウスの上面に沿って挿脱自在に設けたことを特徴とする請求項1記載のマウスの入力防止構造である。

【0007】 請求項3は、前記入力防止手段は、入力操作ボタンの裏面側から押し上げて入力を防止する制止部材をマウス前端の側壁に設けたことを特徴とする請求項1記載のマウスの入力防止構造である。

【0008】 請求項1から3によれば、入力を一時的に

防止する入力防止手段として、入力操作ボタンの操作をその裏面側から拘束して押圧操作を不可能にしているので、入力操作ボタンに何かが当接しても作動しない。これにより不慮の入力を防止することが可能となる。

【0009】

【発明の実施の形態】 (実施の形態1) 図1から図5は本発明の実施の形態1に係り、図1は入力防止構造を設けたマウスの要部断面図、図2は同上面図、図3は入力防止構造の作用を示す要部断面図、図4は同端面図、図5は制止部材の斜視図である。

【0010】 本発明のマウスの入力防止構造は、入力防止手段として図1に示すようにマウス本体1の先端側、即ち入力操作ボタン2a, 2bの下面における側壁上端に傾斜面6を形成し、一方、図5に示す摺動ボタン4と2股の係止片3が一体的に連設された制止部材5の摺動ボタン4をマウス本体1の上面に摺動自在に取り付けると共に係止片3を入力操作ボタン2a, 2bの下面に沿わせて2股の係止片3の先端を入力操作ボタン2a, 2bそれぞれの下面とマウス本体1側の傾斜面6との間に臨ませる。

【0011】 この構成の入力防止構造は、摺動ボタン4を前進させることにより係止片3の先端が側壁の傾斜面6上をすり上がって図3に示すように入力操作ボタン2a, 2bの下面と傾斜面6との間の隙間を埋め、入力操作ボタン2a, 2bの押圧操作が拘束され、入力を防止することが可能となる。

【0012】 本実施の形態によれば、入力操作ボタン2a, 2bの裏面側と側壁上端との隙間に制止部材5の係止片3を挿入することにより入力操作ボタン2a, 2bの押圧操作が拘束され、入力を防止することが可能となる。

【0013】 (実施の形態2) 図6から図10は本発明の実施の形態2に係り、図6は入力防止構造を設けたマウスの斜視図、図7はマウスの要部断面図、図8は制止部材の斜視図、図9及び図10は入力防止構造の作用を示す図である。

【0014】 本実施の形態におけるマウスの入力防止構造は、前記実施の形態1において入力操作ボタン2a, 2bの裏面側と側壁上端との隙間に制止部材5の係止片3を挿入することに替えて、入力操作ボタン2a, 2bをその裏面側から押し上げるように構成したものである。

【0015】 図7に示すように入力操作ボタン2a, 2bをその裏面側から押し上げる制止部材7は図8に示すように、回転ボタン8と係止片9とから成り、この制止部材7をマウス本体1の前端側壁面における中心対象の位置に回転自在に設けて回転ボタンを回転することにより係止片9の先端が入力操作ボタンの裏面に接離する構成となっている。

【0016】 この構成の入力防止構造は、図9に示すよ

うに入力を防止する場合は回転ボタン8を回転して係止片9を垂直上方に起こし、その先端にて入力操作ボタン2a, 2bを裏面側から押し上げることにより、入力操作ボタン2a, 2b作動が拘束されて押圧操作が出来なくななくなる。また図10に示すように、前記拘束状態から係止片9が倒れる方向に回転ボタン8を回転することにより係止片9が入力操作ボタン2a, 2bの裏面から離れて入力操作ボタン2a, 2bの固定が解放され、押圧操作が可能となる。

【0017】本実施の形態によれば、前記実施の形態1と同様な作用効果が得られる。

【0018】

【発明の効果】本発明によれば、マウスを使用しないときに、入力操作ボタンの押圧操作をその裏面側から拘束することにより一時的に入力を防止することが可能となる。これにより不慮の入力を防止することが可能となる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の実施の形態1に係る入力防止構造を設けたマウスの要部断面図。

【図2】同上面図。

【図3】入力防止構造の作用を示す要部断面図。

【図4】同端面図。

【図5】制止部材の斜視図。

【図6】本発明の実施の形態2に係る入力防止構造を設けたマウスの斜視図。

【図7】マウスの要部断面図。

【図8】静止部材の斜視図。

【図9】入力防止構造の作用を示す図。

【図10】入力防止構造の作用を示す図。

【図11】従来のマウスの斜視図。

【符号の説明】

1 マウス本体

2 入力操作ボタン

3, 9 係止片

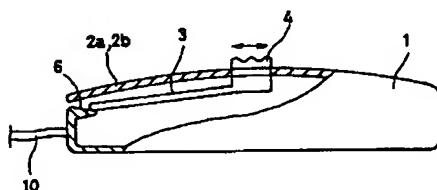
4 摺動ボタン

5, 7 制止部材

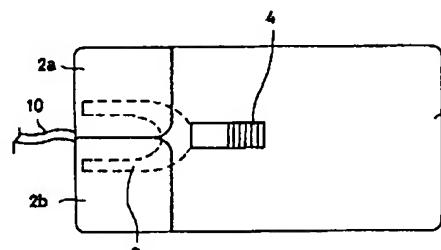
6 傾斜面

8 回転ボタン

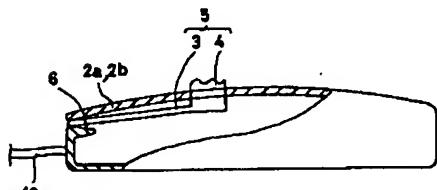
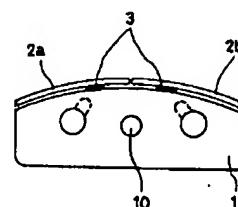
【図1】



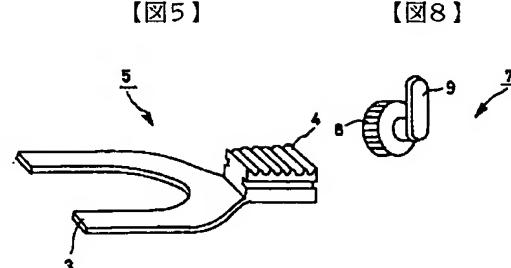
【図3】



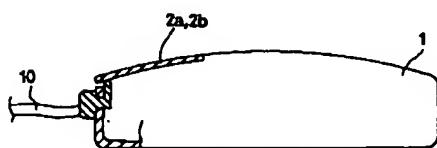
【図2】



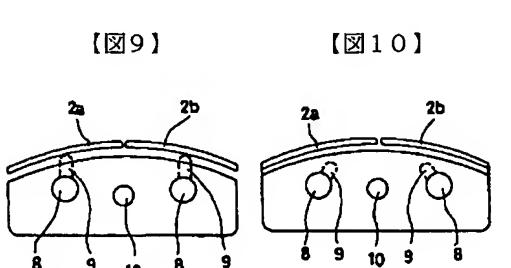
【図7】



【図5】

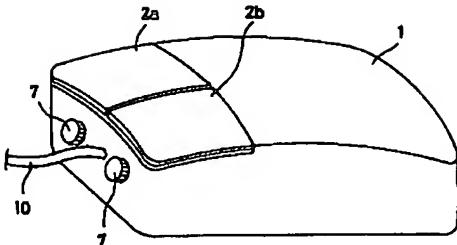


【図9】

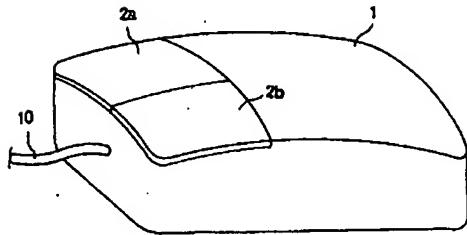


【図10】

【図6】



【図11】



【手続補正書】

【提出日】平成13年5月16日(2001.5.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0002

【補正方法】変更

【補正内容】

【0002】

【従来の技術】パソコン等の入力を操作する従来のマウスは、図11に示すようにマウスを移動操作してマウスの例えばボールを回転させパソコン画面上の指標を希望の箇所に移動し、上面の上側に設けられた入力操作ボタン2a、2bの何れかを選択的に押圧操作することにより画面上の所定の機能を行うことができる構成になっている。なお、図中の符号10はパソコン等に接続するコードを示す。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0003

【補正方法】変更

【補正内容】

【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、前記従来のマウスは、使用中に一寸、使用の中止をして他の用事をするために机上に放置したりしておくと何等かのシ

ヨックが入力操作ボタン2a、2bに加わり、例えば書類を落としたり、何処かにぶつけたりして誤った入力がなされてしまう問題があった。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

【補正内容】

【0004】よって、本発明は、前記従来の問題点に鑑みてなされたものであり、マウスを使用しないときは不本意な、何等かの入力が入力操作ボタンになされないように入力操作ボタンを一時的に入力禁止状態にロックしてマウス操作の信頼性を高めるマウスの入力防止構造を提供するものである。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正内容】

【0005】

【課題を解決するための手段】上記目的を達成するためには、本発明のマウスの入力防止構造に係わる請求項1は、パソコン等の入力を操作するマウスにおいて、入力を一時的に防止する入力防止手段を入力操作ボタンの裏側に設けたことを特徴とするものである。